



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

since 1903

—創立 103 周年—

The Campus News

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

11月号

2006. 第123号

編集発行 学園事務局

<11~1月の行事予定>

1年生		2年生	
11/3(金)	文化の日(休校)	11/3(金)	文化の日(休校)
23(木)	勤労感謝の日(休校)	23(木)	勤労感謝の日(休校)
12/20(水)	保育研究発表会 準備	12/20(水)	保育研究発表会 準備
12/21(木)~22(金)	保育研究発表会	12/21(木)~22(金)	保育研究発表会
12/23(土)	冬季休暇開始	12/23(土)	冬季休暇開始
9(火)	授業開始	9(火)	授業開始
16(火)	実習リレーション(保幼)	22(月)~26(金)	後期試験
22(月)~26(金)	後期試験	29(月)~2/2(金)	追再試期間
29(月)~2/2(金)	追再試期間		



行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい

2年生の就職について

専任教員

三小田 美穂子

そろそろ11月ですね。就職活動に本腰を入れて取り組む時期になりました。就職活動は、単に就職先を見つけるということだけでなく、2年間どういうふうに学習してきたかということが問われます。就職試験は、授業や実習や行事を通して学んだことを披露する場なのです。2年間きちんと授業を受け、充実した自習を行った人は、面接の際に表面的で一般的な答えではなく、知識に裏付けられた深い答えを言えるでしょう。また、さまざまな場面で課題をやり遂げた達成感や自信に満ちた態度となって現れるでしょう。つまり、学生生活を充実させることがもっとも大切なことなのです。

ところで、就職活動に意欲的に取り組んでいる人ばかりではないように思われます。保育者になりたい気持ちはあるし、方法もわかってはいるけれど、一歩踏み出せない人がたくさんいるようです。「案ずるよりも産むが易い」と言います。一歩踏み出してみてください。そうすれば必ずと何をしなければならぬかが見えてきます。

ではここで、求人情報の探し方について整理しておきたいと思います。①実習先、アルバイト先、②学校への求人、③親、知人からの紹介、④自己開拓、⑤ハローワークの紹介、⑥インターネットの情報などがあげられます。

自己開拓は、自分で行きたい園に履歴書を持って行ったり、送ったりして、募集があるかないかを探す方法で、その意欲を買われるので、たいへん有効です。それに加えて最近では、インターネットやハローワークを活用することをお勧めします。園のHPで直接に募集を呼びかけるところも出てきました。これからは、インターネットを利用して情報を集めることも有効な方法になると思います。

就職相談室・担任共々、いつでも相談に応じ、アドバイスできる態勢を整えています。春から晴れて保育士として子どもたちの前に立っている自分の姿を想像して、就職活動に励んでください。



コース変更について

保育士コースと保・幼コース間のコース変更を希望する学生は、12月15日(金)までに事務局へ「コース変更願書」(用紙は事務局にあります)を提出してください。

面接・試問及び学業成績等を総合的に審査した上でコース変更を許可します。詳細は掲示をご覧ください。

東京聖星社会福祉専門学校への再入学について

卒業後、本学園併設の東京聖星社会福祉専門学校への入学を希望する場合は、再入学制度により、選考料・入学金・施設費が免除されます。在学中の学業成績と面接により審査が行われます。希望者は事務局へ申し出てください。

就職指導室の利用と今年度の求人状況について

就職指導室 笹本 亮子

就職指導室には今年度の求人票、幼稚園・保育園の県別のガイド、地図、幼稚園・保育園・施設の名簿、就職対策の参考書、過去の求人票や就職試験のアンケート、教育・保育に関連するニュースファイル等があります。利用時間は平日 9:00 から 18:00、土曜日は 9:00 から 15:00 となっています。

現在、各園から求人票が出てきています。毎年、10月から12月にかけて、学校求人による採用試験のピークを迎えます。掲示板の「就職」のところに幼稚園・保育園・施設等の求人一覧表が貼ってありますので、気になる求人がありましたら、ぜひ、就職指導室まで足を運び、詳細を確認して下さい。また、2年生には「就職指導資料集」を配布してありますので、履歴書の書き方等参考にして下さい。なお、受験のために、学校から「紹介状」を発行しています。受験先に提出すると選考結果通知が書面で学校へ届きます。必ず、紹介状発行願を記入、提出の上、紹介状を事務局で受け取り、受験先に持参してください。

現在の求人状況は、求人件数が昨年度比 20%増、保育士・幼稚園教諭採用試験を実施した自治体も採用数も増加傾向にあります。団塊の世代の大量退職、認定子ども園の制度化、待機児童解消のための保育施設増加、公立保育園の民営化等により、数年間は求人数が増加するといわれています。一方、契約職員や常勤的非常勤職員採用が増え、正規採用が減少しており、就職する立場としては厳しい現実もあります。

学校求人他に、求職の手段として、公的就職支援機関を利用したり、私立幼稚園や保育園の協会・連盟等での登録制度を利用したりすることも有用です。また、ホームページに求人情報を掲載する園や施設もあります。パソコンで検索できるサイトを下記に紹介しますので活用して下さい。

- ◆ ハローワークインターネットサービス(しごと情報ネット)
<http://www.hellowork.go.jp>
- ◆ 学生職業総合支援センター(新卒者対象)
<http://job.gakusei.go.jp/F/F2000200.asp>
- ◆ 福祉のお仕事 <http://www.fukushi-work.jp>
(福祉人材センター・保育園や施設の求人新システム移行のため
11月30日にて一度配信中止 12月中旬よりリニューアル)



* いずれも求人検索することは可能ですが、登録をした会員のみ詳細が分かるシステムになっています。ご質問等がありましたら、お気軽に就職指導室までお越し下さい。1年生の方のご利用もお待ちしています。

来年度入学生のための 学校説明会のお知らせ (各日午後2時～)

11月11日(土)
12月9日(土)
1月13日(土)

高校の後輩またはお友達で
本校入学希望の方がいたら、
参加をぜひお勧めください。

10/13 教養講座『子どもと関わるにあたって ー音楽療法の視点からー』を体験して 保幼2B 菅原 貴司



今回の教養講座は、音楽療法を通しての音楽というテーマで行われました。私は音楽を通じた保育、音楽から得られる感情の変化というものにとっても興味を持っています。今回行われた教養講座の中で実際の現場で活躍されている方のお話を聞き、さらに手拍子や楽器などを使い活動を体験できたことは大変意義深いことでした。

やはり音楽療法と聞くと癒しの音楽というイメージが強いですが、実際にはストレス解消や、胎教や老人痴呆症など様々な場面で使われているようです。そういったお話を踏まえ、リズムを交互に叩いたり4小節ごとに振りを真似していったりという活動を実際に行いました。私自身前へ出て参加してみて、再確認したことが2つありました。ひとつは、音楽とは聴覚を一番使うものですが、その音楽を媒体として工夫することで、身体を使った表現にもなり、運動機能への刺激、また脳への刺激も感じられ様々な感覚に呼びかけることができるということです。さらに音楽は、直接感情に訴えかける作用があり、楽しいと笑顔がこぼれることや悲しい気持ちになるなど、とてもダイレクトな作用もあるという点です。

ところで、私は音楽療法という視点からの取り組みではありませんでしたが、音楽を通してのコミュニケーションという点でとても共通した事柄を実習時に体験しました。私は、視覚・聴覚に障害をもつ子どもが多く見られる施設に実習へ行きました。そこで私がピアノを弾いた時、子どもたちは床に耳をベタッとつけ振動で音楽を感じていたのです。さらに、職員の方々が照明を使い、視覚・聴覚の両方に刺激が行くように配慮するといった工夫をしていました。

今後は、保育の中に様々な感覚へ訴えかけるような音楽活動を沢山取り入れられるように研究をしていきたいと思っています。